

2010年3月期累計第3四半期連結決算報告(2009年4月1日~12月31日)

- 累計第3四半期(4-12月期)実績は世界的な厳しい市場環境を反映
- 第3四半期(10-12月期)の業績は回復を見せ、暖簾等償却前営業利益は黒字化
- 借入更新の進捗
- リストラクチャリングは予定通り進捗
- 通期業績見通しは、営業利益改善により若干の上方修正

累計第3四半期(4-12月期)実績は世界的な厳しい市場環境を反映

- 建築用ガラス、自動車用ガラス両事業において、主要な市場は厳しい状況
- 機能性ガラスの需要は、円高と輸出市場低迷の影響を受けた
- ソーラービジネスは、引き続き堅調に前年対比数量が増加
- グループ売上は4,439億円(前年同期5,864億円)、暖簾償却前営業損失は29億円(前年同期 営業利益296億円)
- 建築用ガラス事業の売上は1,889億円、暖簾償却前営業損失は44億円
- 自動車用ガラス事業の売上は1,956億円、暖簾償却前営業利益は55億円
- 機能性ガラス事業の売上は492億円、営業利益は25億円
- 厳格なキャッシュ・マネジメントおよびコスト削減により、厳しい市場環境の影響を低減継続

第3四半期(10-12月期)の業績は、回復を見せ、暖簾等償却前営業利益は黒字化

- 欧州建築用ガラスの価格水準は維持
- 新車用(OE)ガラス市場において、各国政府による支援策により、一時的ではあるが大きな需要喚起効果
- 機能性ガラス事業は、市場改善を反映し黒字を拡大
- 全事業にわたり、コスト低減活動による効果が引き続き業績に寄与
- 第3四半期のグループ売上は1,509億円(第2四半期1,494億円)、暖簾償却前営業利益は41億円(第2四半期 営業損失6億円)

借入更新の進捗

- 2010年1月29日に350億円の借入契約を締結。借入期間は5年、借入平均年限は4年。用途は、2011年2月に満期を迎える借入の前倒し返済に充当。
- 今年度、主としてリファイナンスのため約1,120億円の外部借入を実施
- 2010年3月期のリファイナンスは既に完了。また2011年3月期中に満期を迎える残りのリファイナンスも進捗中。
- 2009年12月31日時点で、未使用の借入枠は、2011年2月期限のものが225億円、2013年11月期限のものが400億円

リストラクチャリングは予定通り進捗

- グループ全体で4-12月に2,000人を削減し累計6,500人の人員削減。今年度末までの最終削減目標は6,700人
- リストラクチャリング費用は、計画通り累計第3四半期で66億円の計上

通期業績見通しは、営業利益について若干の上方修正

- 通期の営業損益を20億円上方修正(経常利益、当期純利益も同額修正。通期暖簾等償却前営業損失は30億円に縮小)
- 売上、営業外損益、特別損益は変更無し
- 市場環境は概ね安定的に推移
- 第3四半期(10-12月期)の業績好調により通期見通しが改善
- 季節性により第4四半期(1-3月期)の暖簾等償却前営業利益は、ブレークイーブンになると予想
- コスト削減策の効果は、年間140億円を想定

更なるコスト削減と業績改善に季節性を加味し、第4四半期(1-3月期)の暖簾等償却前営業利益は、ブレークイーブンになる見込み。

連結損益計算書

(億円)	2010年3月期 4月-12月期	2009年3月期 4月-12月期	前年同期比
売上高	4,439	5,864	-24%*
暖簾等償却前営業利益**	(29)	296	
暖簾等償却費**	(137)	(162)	
営業利益	(166)	134	
営業外損益	(91)	(88)	
経常利益	(257)	46	
特別損益	(68)	258	
税前利益	(325)	304	
当期純利益	(321)	105	
EBITDA	267	645	-59%

*為替変動を除くと-15%

**P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

経済状況の悪化に伴い業績も大きく低迷

連結損益計算書 (四半期比較)

(億円)	2010年3月期 10月-12月期	2010年3月期 7月-9月期	前四半期比
売上高	1,509	1,494	+ 1%
暖簾等償却前営業利益*	41	(6)	
暖簾等償却費*	(45)	(46)	
営業利益	(4)	(52)	
営業外損益	(6)	(37)	
経常利益	(10)	(89)	
特別損益	(48)	(9)	
税前利益	(58)	(98)	
当期純利益	(59)	(105)	
EBITDA	134	91	+ 47%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

市場状況が改善しつつあることを反映した業績